質 問 ・回 答 書

工事名 ： 梶ポンプ場雨水ポンプ№3設備工事

番 号	質 問 事 項	回 答
1	№3雨水ポンプ用減速機架台蓋は「特記仕様書P6 12. 標準付属品」に縞鋼板と記載されていますが図面にはグレーチング蓋と記載されています。今回どちらを正と考えれば宜しいでしょうか。	特記仕様書の記載が誤りで、グレーチング蓋が正です。
2	仮設止水壁を設置する際に吐出槽の水抜きを行う必要がありますが、降雨が無ければ汚水ポンプ運転に関係なく吐出槽内をドライに出来ると考えて宜しいでしょうか。 また、水替えを行う際の吐出先をご教示願います。	吐出槽内のドライ化は、左記の考え方のとおりです。 吐出先は、排水ポンプ設置場所近辺の排水枡です。
3	特記仕様書P27 第7節 撤去工 今回撤去対象範囲のうち、№3雨水ポンプ、 №3減速機、№3原動機、№3消音器、№3吐出弁 冷却水ポンプ、№3原動機配管ピット蓋、 №3ポンプ点検架台、ポンプ吐出管（DICP） の各重量をご教示願います。	各重量は下記のとおりです。 №3雨水ポンプ 約13t №3減速機 約3t №3原動機 約3.3t №3消音器 約1.5t №3吐出弁 約2.5t 冷却水ポンプ 約97kg №3原動機配管ピット蓋 約180kg №3ポンプ点検架台 約170kg ポンプ吐出管（DICP） 約1.2t
4	雨水吐出管、逆流防止弁の補修塗装及び現地工事に着手可能な時期をご教示願います。	現地工事の着手可能時期は、11月中頃と考えております。
5	電気設備工事の「一般労務費」「技術労務費について ・「第E-3号内訳書 一般労務費」、「技術労務費」に計上されている人工は 1）エンジンポンプ補機盤（3）＜KPS-LP-A4＞の撤去・据付組合せ試験 2）№3雨水ポンプ現場操作盤＜KPS-LCB-A3＞の撤去・据付・組合せ試験 3）上記1）2）以外の電気設備機器（機能増設対象機器）の組合せ試験 4）「第E-2号内訳書 直接材料費に記載の材料費1式についての撤去・敷設・配線の人工と考えて宜しいでしょうか。	「第E-3号内訳書 一般労務費」に計上している人工は、左記4）及び、エンジンポンプ補機盤（3）＜KPS-LP-A4＞の据付、№3雨水ポンプ現場操作盤＜KPS-LCB-A3＞の据付（移設）が対象です。 「第E-4号内訳書 技術労務費」に計上している人工は、№3雨水ポンプ現場操作盤＜KPS-LCB-A3＞の据付（移設）及び、エンジンポンプ補機盤（3）＜KPS-LP-A4＞の据付及び組合せ試験が対象です。
6	吐出井の常時水位をご教示願います。	常時水位は状況により変化します。最大は、おおよそOP-0.74mです。
7	吐出井のドライ化は既設設備使用で可能でしょうか？水替工が必要となる場合は送水先をご教示願います。	2番の回答を参考にして下さい。